

# 新市長に鈴木 定幸氏



## 市長就任あいさつ

常陸大宮市第三代市長に就任いたしました鈴木定幸でございます。着任にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

三期九年余にわたり県議会議員として務めさせていただき、このたび常陸大宮市長の重責を担うこととなりました。県議会議員の全期間を通じて様々な場面でご支援ご指導いただきました市民の皆様方に改めて心より感謝申し上げます。今後は微力ではありますが、職責を全うすべく粉骨砕身の努力を傾けてまいりたいと思いますので、より一層のご指導をお願い申し上げる次第であります。

さて、地方経済の低迷や急激な人口減少、少子高齢化に加え東日本台風十九号による災害からの復興並びに新型コロナウイルスによる経済活動の停滞など、課題山積の県北常陸大宮市ですが、私は以下の優先順位のもと市政運営にあたってまいりたいと考えております。

ております。

第一優先事項は新型コロナウイルス対策であります。市内における医療崩壊の未然防止と新型コロナウイルスによる死者ゼロを目指し、医療関係者や有識者からの助言をいただきながら、役所職員の体調管理の督励と全市民の罹患防止に努めるとともに、あらゆる資源を惜しみなく投入したいと考えております。

第二優先事項は、新型コロナウイルスを発端としたいわゆるコロナ禍によって甚大な被害を受けている市内中小企業や小規模事業者の救済と支援であります。本来こうした事案は国の所管であるべきですが、市内の実情を最も熟知しているのは国でも県でもなく常陸大宮市役所であるという認識のもと、農業や林業を含む市内小規模事業者や中小企業の皆様方に、これからも仕事を続けていただけるよう国県と連携しつつスピード感のある対応に努めてまいります。

第三優先事項は、県北地域における人口流出を防ぐための強靱なダム（政策）の構築とその実践です。そのためには若者が住みたいと思う街づくりが必要不可欠と考えております。「教育、医療、雇用の場」がヒトが定住する三要素と言われている通り、それぞれに力を傾注しなければならないことは言うまでもありませんが、駅周辺再開発においても、若者の定住意欲をそそるような観点からお洒落な街並みの整備も大切だろうと思います。加えて誰もが常陸大宮市に行きたいと思えるような条件整備も重要です。幸い本市には磨けば光る自然資源が豊富に存在します。それらを放置するのではなく、遊び心を持った投資によって、レジャー施設など人々が是非行ってみたいと思えるような魅力創出を図ってまいります。

最後に、これまでの慣習や経験に束縛されて、常陸大宮市ならではの個性ある施策への挑戦をためらっては市民の利益になりません。失敗を恐れることなく、職員の知恵とアイデアを最大限に引き出せるような、そして結果にこだわった市政運営に邁進していくことをお誓い申し上げ、就任のご挨拶といたします。



市長バッジをつける鈴木市長▶

# 三次 真一郎前市長 退任

## 前市長退任あいさつ

市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

今般、世界中で新型コロナウイルス感染症が猛威を振るっておりますが、一日も早い終息を祈っております。

さて、私は、4月22日の市長任期満了をもちまして、退任することといたしました。

平成20年4月に常陸大宮市長に就任し、市民の皆様から公私ともに格別のご支援ご厚情を賜り、無事に職責を果たすことができました。心から厚く御礼を申し上げます。

私は、市長就任以来、一貫して「ふるさと常陸大宮」の発展と市民福祉の向上を図るため、市民の皆様の声に真摯に耳を傾けながら、初心を忘れることなく、全力で市政運営に取り組んでまいりました。

在任期間中は、東日本大震災と令和元年東日本台風という二度の激甚災害に見舞われ、その復旧復興にあたりました。

また、交流人口の拡大という目的から、地域間交流を積極的に進めました。秋田県大館市とは、佐竹氏に由来する歴史的なご縁をもとに交流が始まり、友好都市協定を締結しました。この協定は、400年の時空を超え、ふたつの地域が絆と信頼を結んだ大変意義深いものでした。そして、海外に目を向ければ、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催決定を契機に、宮城県蔵王町とともにパラオ共和国のホストタウンとして、同国選手団の事前キャンプの受け入れをはじめ、オリンピック・パラリンピアン事業などをおして、市全体でのオリンピックレガシー（競技大会後に残る有形無形の社会的遺産）づくりを進めてきました。

ハード面におきましては、地域産業の活性化や市のPRなどの情報発信施設の役割を担う産業振興の重要な拠点として、道の駅常陸大宮～かわプラザ～を整備しオープンすることができました。

「未来」を描くとき、必ず「過去」と「今」をしっかりと見つめなければなりません。行政は、「過去」と「今」と「未来」が、大切な一本の線（道）でつながっています。今後、どんな時代になっても変わって欲しくないもののひとつとして、「醇風美俗」があります。これは、人情が厚く、美しい風俗や習慣をいいますが、本市は、将来にわたってそういった精神風土のまちでいつづけて欲しいと願っています。郷育立市をさらに深め、夢や希望を持ち、素晴らしい未来を展望しながら誇り高いまちをつくり、輝かせることができるのは市民の皆様です。新しい市長のもと、皆様がまちづくり

の主役となり、さまざまな分野で活躍していただけることで、「ふるさと常陸大宮」は未来像である「人が輝き、安心・快適で、活力と誇りあふれるまち」として発展し続けていくと信じています。

退任後は、市民のひとりとして常陸大宮市の発展に微力を尽くしていく所存ですので、今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。私の退任の挨拶といたします。



◀拍手で見送られ、庁舎を後にされました

